

## 福島第一原子力発電所の廃止措置における腐食科学・工学の貢献

原 信義

東北大学

福島第一原子力発電所（1F）の安全・着実な廃炉を進めるためには広範囲の学術と技術の結集が必要である。燃料および燃料デブリの回収を完了するまでの間、さらなるインシデントの発生を回避するために、原子炉の冷温停止状態を維持することが極めて重要である。水による冷却システムの健全性を確保するために、構造材料の腐食制御が重要である。したがって、腐食機構と腐食対策の研究は重要である。

腐食防食学会には、1Fの腐食問題を継続的に取り上げることを期待する。長期にわたる廃炉に貢献できる人材の育成も必要である。この点でも腐食防食学会の今後に期待するところが大きい。